

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年12月23日（月）

2 確認箇所

6号機原子炉建屋オペレーティングフロア

3 確認項目

新燃料除染作業における燃料棒変形事象の対応状況

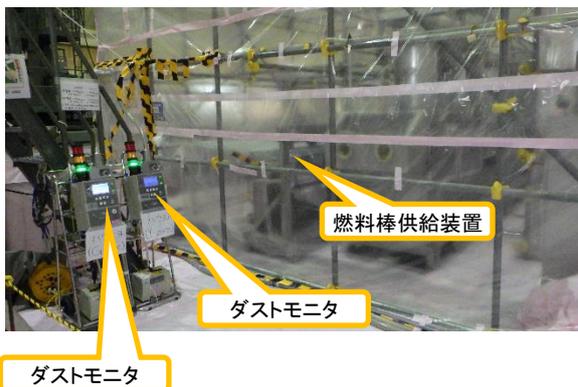
4 確認結果の概要

6号機原子炉建屋オペレーティングフロアで実施されている新燃料（未使用燃料）の解体、除染作業中において、11月25日に発生した燃料棒の変形事象の対応状況について確認した。（前回確認日：11月26日）

- ・変形した燃料棒は、ハウス内に設置されている除染装置に燃料棒を供給する装置（燃料棒供給装置）に、事象発生時と同じ状態で挟まれたままであった。（写真1）
- ・ハウス内外の放射性物質濃度を連続測定するダストモニタ2台が新たに設置されていた。（写真1、写真2）

なお、現地確認時のハウス内外のダスト濃度は、同程度（ α 核種： 10^{-9} Bq/cm³ オーダー β 核種： 10^{-7} Bq/cm³ オーダー）であり、警報設定値（ α 核種： 1×10^{-7} Bq/cm³ β 核種： 5×10^{-5} Bq/cm³）を十分下回っていた。

- ・東京電力によると、変形した燃料棒を取り出す方法や曲げ戻し方法等を検討中とのことであった。



（写真1）

除染装置、燃料棒供給装置が設置されているハウスの外観



(写真2)

新たに設置されたダストモニタの
状況 (右側：ハウス内用 左側：ハウ
ス外用)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。